

## はじめに



本市では、第2次東近江市総合計画の政策の一つである「共に見守り支え合い豊かに暮らせるまち」を本計画の基本理念として位置づけ、市民一人一人が役割を持ち、支え合いながら豊かに暮らせるまちづくりに取り組んでいます。

近年の少子高齢化の急速な進展とともに、単身世帯の増加や地域コミュニティの希薄化などの社会変化を背景に、生活困窮や社会的孤立などの問題が深刻さを増し、現存するサービスでは十分対応できない複合的な課題が表面化しています。特に、新型コロナウイルス感染症の影響により、人と人が直接つながることが難しくなったことは、人が地域でつながる「支え合いの地域づくり」を進めていくうえでの大きな課題となっています。

第2次地域福祉計画では、「地域力」を高めていくため福祉分野にまちづくりの視点を加え地域での共助づくりを進めてきました。本計画においては、さらに一步踏み込んで誰もが孤立せず役割をもって社会参加できる場や機会の創出、支援のはざまをつくらない包括的な支援体制の構築、市民や地域の関係団体と行政が協働し、一体的に支援する仕組みづくりを推進してまいります。

また、新たに災害時にも支え合える地域の仕組みの構築、誰もが自分らしく暮らし続けるために権利擁護支援の体制整備を施策に位置づけ、地域共生社会の実現を目指します。

本計画を市民の皆様と共有し、基本理念の実現に向け地域福祉の充実を進めてまいりますので、引き続き御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定に当たり、御尽力いただいた東近江市地域福祉計画推進委員会委員の皆様をはじめ、御協力いただいた関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

令和4（2022）年3月

東近江市長 小椋正清